

あなたにとって、「受け入れる」とはどういうことだろうか。相手の願いや欲求をその通りにすること。相手のことを認めること。様々な意味があるが、きっとこの言葉の意味は相手を認めることだという人のほうが多いだろう。そして、認めることは大事なことだと知っている人も…。

私が二年生の時、クラスに留学生が来た。アメリカから来た子だった。担任の先生は英語を話せたのでその子と会話ができしたが、私のクラスメートに英語を話せる子は一人もいなかった。その子に誰も話しかけることなく、初日は終わった。そんな私たちを見ていた先生は次の日、みんなでフルーツバスケットをすることを提案してきた。先生がみんなが言ったことや留学生が言ったことを通訳する。というやり方でその時間は始まった。最初はみんな緊張し、普段と違ってあまり話したりしていなかったが、やり始めると普段のように楽しくできるようになってきた。でも、留学生は自分だけずっと横に先生がいるのが嫌だったのか、あまり楽しそうにしていなかった。すると、そんな様子を見ていたある友だちが鬼が言ったことをジェスチャーで留学生に伝えたのだ。意味が伝わったのか、その子は何度もうなずいて笑い出した。とても嬉しそうだった。それにつられて、私たちも笑った。先生も笑った。最後は結局、ジェスチャーゲームになったが、それでもみんな楽しく過ごせた。そんな時間が終わった後、私は、

「昨日まではただの留学生としか思っていなかったけど、今日は友だちになれて良かった。」
と思った。

そしてその子がアメリカに帰るとなった時は、その子が乗った車が見えなくなるまで手を振って泣いている子もいた。私たちは留学生を留学生という形だけではなく、友だちとして受け入れることができた。

しかし、現実はどうだろうか。私たちは子どもで、しかも低学年だったから人を受け入れるのに時間はかからなかったが、大人はそういう訳にはいかない。だから私は、そういう社会のせいで犯罪者が生まれてしまうのだと思った。私の友だちには、よく自慢をしてくる子がいる。今まではなんでそんなことをしてくるんだろうと思っていたが、社会を明るくする運動について考えていたら、わかるような気がした。それは、みんなに認めてもらえていないからだと思う。自分が頑張ったこと、苦勞してできたことを認めてもらえず、それで友だちに自慢してしまうのだろう。それと同じで、犯罪を起こす人のほとんどがそういう理由なのだと思う。例えば、ある人が一番仲の良い友だちにある意見を持ったとする。それは、友だちを悪く言う意見だった。

「友だちのせいで、自分は〇〇になった。どうしてくれるんだ。」

でも、その人にはその友だち以外に自分の話を聞いてくれる人がいない。そしてある日、抱えていたストレスが爆発してしまい、その人を殴ってしまったことで、犯罪者になってしまった。こんな人もたくさんいるのだろう。

自分の気持ちを認めてくれる人がいないことは、犯罪を起こすことにつながる可能性がある。人の気持ちを認める心、受け入れる心。これらが社会を明るくするために必要なのではないだろうか。